

自主的環境活動の取り組み状況

(事業場名)ハウスウェルネスフーズ(株)

1 環境保全活動に関する方針等

1 - 1 環境保全活動に関する方針等

【環境方針】

[環境理念]

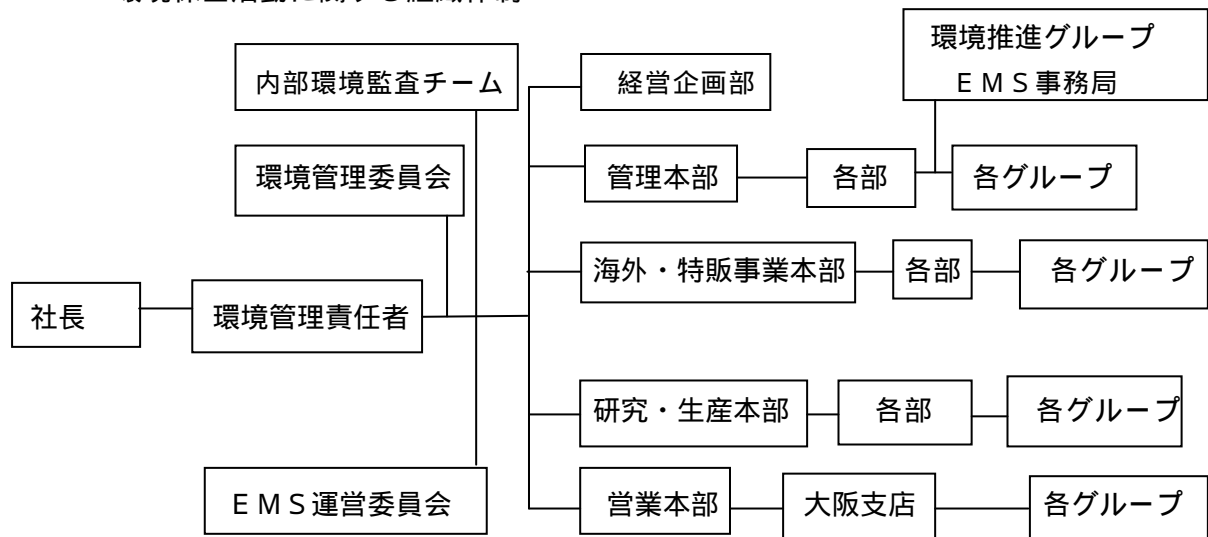
私たちは、おいしさと品質と安全にこだわり安心できる食品づくりに努めるとともに、地球環境の大切さを十分認識し、環境に配慮した企業活動を通して恵み豊かな地球の存続に貢献します。

[行動指針]

1. 事業活動全般（調達・生産・物流・販売）について、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減・再資源化及び地球温暖化物質等の排出抑制に努め、汚染の予防を推進します。
2. 原料調達から消費に至るまで、各段階で環境に配慮した商品開発に努めます。
3. 環境に関わる法律を遵守するとともに、自主基準を設定し事業活動を行います。
4. 環境目的・目標を定め定期的に見直すことにより、環境活動の継続的改善を図ります。
5. 環境教育を通して環境意識の向上を図り、社員全員が環境活動に積極的に取り組みます。
6. 社内外に必要な環境情報を公開します。

2 推進体制の整備

1 - 2 環境保全活動に関する組織体制



管理本部 総務部 環境推進グループ 環境関連窓口

管理本部 補給部 SCMグループ 特定荷主の責任

研究・生産本部 生産部 業務グループ 省エネ法管理

研究・生産本部 生産部 工務グループ 環境測定および届出

2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果	今後の取組計画
<p>1. 温暖化ガスに換算したエネルギー量を2008年度に対し原単位で1%程度削減する。 (製造グループ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・製造グループの原単位で1%程度削減の目標は、生産数量の減少により未達となった。 ・総量では、2008年度に対し10%削減となった。また、実稼働での原単位では、工程改善、初期トラブル対応の成果があり電気、都市ガスとも3~7%の削減となった。 	<p>1. 温暖化ガスに換算したエネルギー量を2008年度に対し原単位で2%程度削減する。(2010年度)</p>
<p>2. 環境マネジメントプログラムの手段、ノー残業デーを月1回実施により温暖化ガス使用量を2008年度より削減する。(製造グループを除く全部署)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーの月1回実施、空調機の温度設定厳守、昼間の消灯等の省エネ活動を実施。結果として製造グループを除く全部署において2008年度比106%で未達となった。 未達要因 <ul style="list-style-type: none"> ・電気の温暖化ガスに換算は2008年度比 97.1% ・都市ガスの温暖化ガスに換算は2008年度比 128.0% (休日の蒸気使用割当てが、粉体グループ休日生産日の減少により一部間接施設の負担となった為) ・製造グループを含む伊丹地区の温暖化ガス量は、2008年度比91%に減少した。 	<p>2. 環境マネジメントプログラムの手段、ノー残業デーを月2回実施により温暖化ガス使用量を2008年度より削減する。(2010年度)</p>
<p>3. 輸送方法の効率化の推進。 LPG、ガソリンの消費量を2008年度に対し削減する。 (燃費改善)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・改正省エネ法(特定荷主の責任)に基づき、モーダルシフト(トラックからJRへ)を実施している。 ・アイドリングストップの励行など、LPG、ガソリンの消費量の削減に取組み中。いずれも減少した。(ガソリン89%、LPG93%) 	<p>3. 輸送方法の効率化の推進。 LPG、ガソリンの消費量を2008年度に対し削減する。(燃費改善)(2010年度)</p>
<p>4. 廃棄物量(原材料、製品、飲料廃液)を2008年度より削減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物量は、2008年度比86.6%に減少し目標を達成した。 	<p>4. 廃棄物量(原材料、製品、飲料廃液)を2008年度より削減する。(2010年度)</p>
<p>5. 廃棄物の再資源化率を99%以上を維持する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・再資源化率は、若干目標未達の98.6%となった。(2008年度は99.0%) 	<p>5. 廃棄物の再資源化率を99%以上を維持する。(2010年度)</p>

項目	取組結果	今後の取組計画
6. 工場排水負荷 (COD負荷量)を2008年度より減少させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・汚濁防止への継続的な取組みと適切な希釈実施等により、排水のBOD、COD値等は安定的(基準値を超えることは無かった)に推移した。(下水道の排水規制値、自主規制値ともに適合) 2008年度より工場排水負荷量も減少し目標を達成した。 	6. 工場排水負荷(COD負荷量)を2008年度より減少させる。(2010年度)
7環境配慮製品の優先的購入(購入実績 2008年比1%増加)	<ul style="list-style-type: none"> ・社内一般用事務用品をエコマーク商品優先的に購入など各部門でグリーン購入を推進し目標を達成した。 	・定着化により環境側面を見直し2010年度より取組計画から外す。
8. 製品包装資材の改良を検討し実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・包装設計 24 件 ・仕様変更 41 件 ・段ボールケース材質低減などを実施した。 	7. 製品包装資材の改良を検討し実施する。
9. 紙使用量を2008年度に対し削減する、コピー紙の再生紙使用率99%以上を維持する。	<ul style="list-style-type: none"> ・営業チラシ等配布資料の削減、受注の電子化による注文書出力の削減などが要因となって大幅な削減(79%)となった、また、コピー用紙の再生紙比率も99.7%で達成した。 	8. 紙使用量を2008年度に対し削減する、コピー紙の再生紙使用率99%以上を維持する。(2010年度)
10. 環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム運用 	運用の継続的改善を行なう。
11. 環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・内部環境監査員教育の外部教育の実施 ・各グループ単位の環境教育(年度計画)の実施 	同左
12. 地域社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・事業場周辺の清掃活動(週1回) ・正門前道路接地面にゴミ箱および灰皿を定置化ゴミの回収と清掃活動を実施。 ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年1回12月) 	同左 <ul style="list-style-type: none"> ・全社員による事業場周辺の清掃活動(年2回6, 12月)